

協議会における委員の主な意見及びその対応(案)について

No.	委員の主な意見（要旨）	対応（案）
1	新型コロナウイルス感染症の拡大により公共交通の利用者が減っていることもあるので、様々な交通事業者が連携して公共交通をしっかりと利用してもらえるようにしてもらいたい。〔川本委員〕	御意見のように、交通課題として、公共交通の利用促進を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」で説明します。
2	なぜ自動車の利用割合が高いのかということについて、要因等を探るべきではないか。また、今後も自動車を中心とした交通計画を考えていかざるを得ないのか、或いは、自動車に代わるものがでてくるのか、今回の分析の中でどのように考えているのか。〔原田委員〕	自動車の利用割合が高い要因や、自動車に関する今後の交通施策の方向性を踏まえた上で、交通課題を整理しています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
3	移動の様式やパターンが変わってきているということを感じる。人口減少の問題はあるが、お年寄りが元気になり一人当たりの移動量も増えているなど、今までとは違うやり方のインフラ整備やサービス提供をしなければいけないのではないかと。〔藤原会長〕	御意見のように、交通課題として、高齢者が安全かつ快適に移動できるような取組を進める必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
4	新型コロナウイルス感染症の拡大により余計目立っているかもしれないが、移動しなければできない活動と、移動しなくてもできる活動というのが明確に分かれつつあるといえるのではないかと。こうした分析の結果として、今の傾向を是とするのか、非とするのかを見定めていくことが重要ではないかと。〔藤原会長〕	御意見のように、インターネットを利用した商品・サービスの購入など、移動しなくてもできる活動が増えていると認識しており、そうしたことを踏まえて、交通課題を整理しています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
5	街中を歩く人は10年前と比べて増えているように思う。街の賑わいづくりのためにも街中を歩くことは重要ではないかと。〔赤木委員〕	御意見のように、交通課題として、まちづくりと一体となった歩行環境整備を進める必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
6	中山間地・島しょ部において、自動車と公共交通のどちらを中心とした生活を描くべきなのか。〔三宅オブザーバー〕	中山間地・島しょ部においては、交通課題として、公共交通サービスが十分に行き届いていない現状等を踏まえる必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
7	中山間地・島しょ部における公共交通を考えるに当たって、都市計画や居住の在り方に関する議論（居住の自由が保障されている中で、コンパクト化をどこまで市の方針として位置付けるべきか）とどのように連動させていくべきか。〔三宅オブザーバー〕	御意見については、本市の立地適正化計画による都市機能や居住の誘導区域の設定を踏まえる必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
8	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う自粛生活の継続により、公共交通利用者が減少し、各事業者の経営が大変厳しくなっている中で、今後の交通戦略の方向性をどのように執っていくのか。〔川本委員〕	公共交通については、交通課題として、基幹的なネットワークの機能強化や、利用者にとって分かりやすく使いやすいサービスの充実・強化を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。

No.	委員の主な意見（要旨）	対応（案）
9	広島駅の出入り口の案内がわかりにくい。路面電車が高架で乗り入れることで便利になるのは大歓迎だが、今後はどうなるのか。〔川本委員〕	交通課題として、広島駅も含めた交通結節機能の強化による乗換利便性の向上を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
10	広島市総合交通戦略にSDGsを取り入れてもらいたい。〔川本委員〕	御意見については、戦略の素案に反映させたいと考えています。
11	自動運転の実現に向けた取組について、広島市総合交通戦略にどのように反映させるのか。〔川本委員〕	交通課題として、自動運転も含めた新技術等を利活用し、効率的かつ効率的な交通施策の推進を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
12	自家用車による円滑な移動を尊重しつつ、自動車以外の新たな利便性の高い交通手段を充実させていく転機となるような総合交通戦略としてはどうか。〔原田委員〕	
13	公共交通の利便性向上について、「情報の内容充実と即応性のある情報向上」「乗降しやすい公共交通機関」を図ってはどうか。〔原田委員〕	交通課題として、利用者目線に立った公共交通の利用性向上を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
14	コンパクトシティの実現は平時には合理的で魅力的に感じるが、災害時・非常時にはすべてが機能不全になる危険があるのではないかと。代替的処置を講じやすい事前の保全策を考えておく必要があるのではないかと。〔原田委員〕	交通課題として、リダンダンシー（多重性）の強化等による、道路ネットワークの強靱化を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
15	広島市は中国・四国地方の中核拠点として、県内はもとより、県外にも多くの流出入がある広域交通拠点となっている。広域交通拠点としての機能強化は広島市の今後の発展において重要であり、戦略の改定においても、一定の位置づけが必要なのではないかと。〔山田委員〕	交通課題として、広島広域都市圏のヒト・モノの循環を生み出す広域幹線道路ネットワークの構築を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
16	市内中心部について、高齢者・障害者ともに歩きやすい空間にして、にぎわいを創出してほしい。〔赤木委員〕	交通課題として、都心のまちづくりと一体となった歩行環境整備を進める必要があると考えています。詳細は、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。
17	交通課題を整理して施策の方向性検討していく上で、事業者側の視点（ドライバー不足、収支のアンバランスなど）や自治体側の視点（限られた財源・スタミナ）といった問題点等が抜けているのではないかと。〔戸田委員〕	事業者側の視点については、交通課題として、基幹的なネットワークの機能強化や、利用者にとって分かりやすく使いやすいサービスの充実・強化を図る必要があると考えています。詳細については、議事(3)の「交通の現状等を踏まえた課題の整理」の中で説明します。 自治体側の視点については、実施施策の展開において踏まえる必要があると考えています。今後、「推進プログラム」を検討する段階で盛り込んでいきたいと考えています。

※ No. 6 以降は協議会開催後に追加で寄せられた意見